

企画委員会報告

企画委員長 石川昌紀（大阪体育大学）

今期の企画委員会では、身体運動文化領域研究会との共催で、“体ほぐし導入の成果と影響、そして今後の課題”とスポーツ領域研究会との合同セミナーの共催で“バイオメカニクス研究法への招待”を開催いたしました。

企画委員会・身体運動文化領域研究会の共催は、平成26年10月5日（土）、谷岡学園梅田サテライト・オフィス、グランフロント大阪タワーA16階で、企画委員会と身体運動文化領域研究会の共催で、<からだを慈しみ、育む>という視点から「体ほぐし運動」を主軸に実践的に研究・活動されている高橋和子先生（横浜国立大学）を招聘した。講演では、からだ気づきの実践を通して体ほぐし導入の成果と影響について紹介して頂きました。またその後のワークショップにおいて、しなやかに生きる身体論ワークの視点について体験実習を行なって頂きました。大阪体育学会で検討されてきたテーマでもあります“体育は何をする教科か？”について考えさせられる貴重な講演となりました。

また、企画委員会・スポーツ領域研究会の合同セミナーの共催として“バイオメカニクス研究法への招待”を、田邊智先生（大阪産業大学）と石川昌紀（大阪体育大学）を講師として平成26年12月13日に大阪体育大学バイオメカニクス研究室にて開催した。内容は、「画像分析法の理論と基礎的分析」として、2・3次元の動作解析の方法、動作解析のフリーソフトの紹介、VICONを用いたモーションキャプチャーなど画像分析法の理論と基礎的分析を田邊智先生（大阪産業大学）、「神経筋機能の評価方法」として、下肢の筋腱形態測定の方法、誘発筋電図を用いた運動機能評価法などを石川昌紀（大阪体育大学）が担当いたしました。

来年度以降も会員に有益な情報提供を行っていくためにも、会員からのセミナーなどの企画の要望をお待ちしております。